

氏名	目 黒 澄 雄
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	乙 第 277 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和43年 3 月31日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学 位 論 文 題 目	気道再建の実験的研究
論 文 審 査 委 員	教授 砂田 輝武 教授 田中 早苗 教授 児玉 俊夫

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

頸部あるいは胸部の悪性腫瘍による気道の閉塞，さらに労働災害及び交通災害等による気道の損傷または圧迫による呼吸障害に対して，気管の単なる縫合，端々吻合あるいは気管切開術などの簡単な方法によって解決し得ないような場合，著者は主として頸部気管の症例に対して必要な気道再建の方法に関して，犬を用いて動物実験を行なった。

実験材料として新しい高分子化合物，すなわち，テトロン，ポリエチレン，ポリプロピレン等を用いて代用気管を作り，永久気管切開術，気管の部分欠損及び全周欠損に対する補填術を行ない，かなり長期の観察の結果，代用気管の材料，作成の方法，手術の方法によっては長期生存可能であり，良好な結果を得たので，臨床応用の可能性も十分期待されることがわかった。

(昭和42年9月日本胸部外科学会雑誌第15巻9号掲載)

論文審査の結果の要旨

本研究は気道再建について実験的に研究したものであるが、高分子化合物応用による気道再建の可能性について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。